



「台風災害の早期復旧」に取り組んでいます



台風15号、19号など超巨大台風が日本列島を次々と襲い、甚大な被害が発生しました。様々な災害の防止には「国土強靱化」のみでは対応しきれず、自分の命は自分で守る意識の醸成と情報の迅速な伝達、河川堤防の強化、既存ダムによる治水のための連携強化などハード・ソフト両面の防災・減災対策が重要です。

道下大樹さんは、台風19号において横浜市・鶴見川の水位低減効果を発揮した鶴見川多目的遊水地と、最近の異常気象・気候変動のなか気象・地震・津波・火山などの現象監視や警報発表を行う気象庁の中枢部を視察。迅速かつ適切な気象情報の発信と、効果の高い

防災・減災対策の推進に取り組む決意を新たにしました。10月30日の衆議院国土交通委員会では、台風被害で不通となっている鉄道の復旧工事費用の国の負担割合を現行の1/4から引き上げる法改正を提言。被災された方々が一日も早く元の生活に戻ることができるよう活動しています。

「誰もが安心できる」社会保障制度を

安倍政権は「全世代型社会保障改革」と言っていますが、中身は年金給付の削減、医療費の窓口負担割合や介護サービス料の引上げなど高齢者の負担増、そして現役・将来世代の保険料アップと給付削減であり、これでは安心して生活することができる社会保障体制は構築できません。道下大樹さんは生活の水準を保障する「最低保障年金制度」の実現と、どの地域でも高水準の医療・介護を受けられる法制度の整備を目指して活動しています。



安倍内閣は「即刻退陣」を！！



10月4日から始まった臨時国会は、日米貿易協定の賛否など重要課題が山積しているにもかかわらず、経済産業大臣と法務大臣の二名が早々に公職選挙法違反疑惑で辞任するなど内閣総辞職に値する異常事態です。安倍首相は「任命責任は私にある」と言っていますが、責任を果たしているのでしょうか。首相自身が森友・加計問題の説明から逃げている無責任さが政権・自民党内に蔓延しています。政府与党の緊張感のなさ、怠慢、傲慢さは歴代政権の中で最悪です。国会で厳しく追及して参ります。

※道下大樹さんの国会活動（委員会や本会議における質問等）は、
衆議院インターネット審議ビデオライブラリ」でご覧になれます。
<http://www.shugiintv.go.jp>

「地元札幌」でも精力的に活動中！！

◆憲法学習会にて講演



◆女子ラグビー「サクラセブンズ」激励



◆小学生の通学を見守り



続けています、「街頭演説」！！

国会開会中も月曜朝や土・日には駅頭やスーパーの前などで積極的に街頭演説をしています。最近では東京五輪マラソン・競歩の札幌移転、消費税 10%引上げの問題、安倍政権が目指す年金改革制度の危険性、大学入試における民間英語試験導入や記述式試験の問題点などについてお話しをしています。寒いなか立ち止まって聞いて頂いたり、手を振って応援して頂く方も多く、街頭演説を通じて地元の皆様から元気をもらっています！！



道下大樹さんプロフィール



1975年12月24日北海道新得町生まれ。

その後苫小牧市、八雲町に転居。八雲町立八雲小、留萌市立沖見小、旭川市立北鎮小、同啓北中、北海道旭川東高校を経て、1998年中央大学法学部法律学科卒業、同年から横路孝弘衆議院議員の公設秘書を務め、2007年北海道議会議員初当選（以後3期連続当選）。2017年の衆議院議員選挙に北海道1区から横路孝弘衆議院議員の後継として立候補し、小選挙区で当選。現在、衆院国土交通委員会、衆院憲法審査会に所属。党政調会長補佐、党税制調査会事務局長を務める。

H P <https://www.michishita-daiki.jp>

メール info@michishita-daiki.jp

F B <https://m.facebook.com/michishitadaiki/>

